

(案)

第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン（素案）パブリックコメントに対する考え方

第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン（素案）に関するパブリックコメントを実施しました。

実施期間 令和4年12月23日（金）から令和5年1月17日（火）午後5時15分まで

提出件数 11件（2人）

No.	頁	意見対象箇所	意見の概要	市の考え方
1	P1	ビジョン策定の趣旨	<p>下から4行目「本圏域でこれまで培ってきた連携をさらに深化させ」とありますが、この趣旨を反映させたところが見えるような記述が必要だと思います。第2章か第3章に例えば、第2期ビジョンでの新規事業や統合した事業などの解説を入れるとか、継続事業でも、第1期ビジョンの取組の成果や課題を踏まえ、第2期で強化する点などの記述があれば、多少なりとも第1期と2期の違いがわかりやすくなるのではないかと思います。</p>	<p>「第3章 因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏域の将来像」の記載を整理し、第1期ビジョンの取組状況等について記載することとします。</p> <p>また、附属資料に、「第1期ビジョンとの比較」を追加します。</p>
2	P1	施策の評価・検証	<p>重要業績評価指標(KPI)の設定はとても良いと思いますが、重要目標達成指標(Key Goal Indicator)の設定を明確化されては、どうでしょうか。</p>	<p>本ビジョンでは、「連携中枢都市圏域目標人口」が重要目標達成指標(Key Goal Indicator)に当たります。</p> <p>本ビジョンの推進に当たっては、取組の進捗状況や社会・経済情勢の変化等を踏まえ、毎年度、改定を行うこととし取組の効果的な推進を図ってまいります。</p>

No.	頁	意見対象箇所	意見の概要	市の考え方
3	P1	施策の評価・検証	第2期ビジョンの策定にあたり、第1期ビジョンの直近の結果や到達を掲載した方がいいと思います。少なくとも、第1期の3つの分野の重要業績評価指標（KPI）の結果は必要です。（どこに掲載するかは別として）	「第3章 因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏域の将来像」の記載を整理し、第1期ビジョンの取組状況等について記載することとします。
4	P12~P17 P52	圏域を取り巻く情勢と課題	人口動態と未婚率の推移結果を踏まえて、P52「6圏域を取り巻く情勢と課題」の(1)人口減少・少子高齢化の進展の欄に子育て支援に向けて具体策を盛り込まれては、どうでしょうか。	本ビジョンでは、子育て支援の取組として、「病児・病後児保育事業」や「森のようちえん運営・活用事業」などを位置付けており、引き続き、圏域市町で連携して取り組んでまいります。 また、御意見を踏まえ、「6圏域を取り巻く情勢と課題 (1)人口減少・少子高齢化の進展」に、子育てしやすい環境づくりに関する記載を追加します。
5	P17	女性の未婚率の推移の表	女性の未婚率の推移 平成27年 45~49歳 14.1%の罫線（縦）のフォントが二重線になっていると思います。	修正します。

No.	頁	意見対象箇所	意見の概要	市の考え方
6	P40	④ 圏域住民の医療施設の利用状況	圏域住民の医療施設の利用状況を見ますと、鳥取市に次いで、八頭町の利用者が圏域内では多い結果となっています。八頭町との連携強化策の充実も今後大切になってくると思います。	鳥取県東部地域の保健医療や福祉の向上を図るため、鳥取県東部医師会と連携して「東部地区健康づくり推進協議会連絡会」を毎年度開催し、八頭町をはじめとする県東部4町にも参加いただき、医師会との情報共有・意見交換を行っています。今後も、本連絡会をはじめ様々な機会を通じて、医師会と圏域自治体との連携の充実を図っていきます。
7	P53	6 圏域を取り巻く情勢と課題	(4) 地域公共交通の確保について、超高齢化社会の進展とともに、より安全性・利便性の高い交通手段が求められており、公共交通のデジタル化等をしていく必要があることはまさにそうだと思いますが、それだけではなく、地区ごとの公共交通の利用率と高齢化世帯（一人暮らし）数を突き合わせて、日常生活(買い物等)が難しい住民にターゲットを絞った施策を展開されることはどうでしょうか。高齢者の自動車運転による交通事故の抑制に繋がるきっかけとなるのではないのでしょうか。	高齢化の進展とともに、高齢者など交通弱者の移動需要に応じた交通手段の確保が求められていますので、御意見の視点も踏まえ、より有効な施策を検討、実施してまいります。
8	P54	圏域の目指す将来像	「地域の資源や特徴を生かした自立した活力ある圏域」の内容に、新たな雇用の創出について、触れられておりますが目標数値が無いように思います。この点は、鳥取市中小企業・小規模企業振興ビジョン（素案）に記載されているという認識でよろしいでしょうか。	雇用の形態が多様化するなか、雇用創出数について、客観的な数値を把握することが困難となっており、新たな雇用の創出と圏域での労働力の確保に取り組むことが、基本目標とする「連携中枢都市圏域目標人口」とリンクするものと考えております。

No.	頁	意見対象箇所	意見の概要	市の考え方
9	P52~53	圏域を取り巻く情勢と課題	情勢と課題については、第1期に取組んだ結果のようなものなので、現時点での取組のまとめは必要だと思います。その上での課題ではないかと思います。前述の「4 施策の評価・検証」と関連しますが、第1期における連携施策の評価と課題が第2期の取組にこのようにつながっているというようなことがわかるようなページが要るのではないかと思います。	「第3章 因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏域の将来像」の記載を整理し、第1期ビジョンの取組状況等について記載することとします。
10	P58~	連携協約に基づき推進する取組	拡充した事業、新規事業は、そのことがわかる標記にした方がいいと思います。	附属資料に、「第1期ビジョンとの比較」を追加します。
11	P58~	連携協約に基づき推進する取組	連携事業とすることで功を奏するのかがわからない事業があります。各市町で同じような事業をしているからと挙げているのではないかと思うものもあります。だからこそ、ビジョンに挙げる効果などの検証を掲載すべきです。	連携の手法や態様は、事業により異なりますが、圏域全体の一体的な発展を目指し、事業効果等も検証しながら、連携して取り組んでまいります。